

リチャードソン EU 大使の一橋大学での講演

ヒュー・リチャードソン EU 駐日大使が一橋大学を 2007 年 4 月 27 日に訪問し、「EU とは何か、どこへ向かうのか？」と題する講演を行った。この講演は一橋大学の授業である「EU 入門」の一環として行われたが、EUIJ 東京コンソーシアム四大学の学生全てが出席可能であった。講義の会場は約 450 人の学部学生と大学院生で満員となった。講義は一橋大学の小川英治教授の司会で開始され、最初に同大学の杉山武彦学長が歓迎の辞を述べた。次いでパワーポイントを用いてリチャードソン大使が英語で 1 時間の講義を行った。その後の質疑応答では、学生は主に日本語で質問を行い、英語に通訳された後、大使が英語で回答した。

リチャードソン大使の講演は明快かつ包括的であり、拡大・通貨・人口移動・EU 機構といった、現在進行中のヨーロッパ統合の側面を全て扱うものであった。学生のほとんどは EU に関する勉強を開始したばかりであるが、全員が大使の講義を興味深く聞き入っていた。学生からは多岐にわたって多くの質問が出されたが、大使はそれらに丁寧に回答していた。特に聴衆にとって印象深かったのは、リチャードソン大使が、「欧州委員会は各加盟国政府の利益だけでなく EU 全体の利益を代表するため、もし両者の利益が衝突した場合には自分はイギリス国民ではなく EU 官僚として振舞う」と答えたことであった。講演後にも、大使は数人の学生との会話を楽しむことができた。また、聴衆の学生たちには質問票も配られた。その回答によると、学生たちがこの講義と EU 自体に強い興味を示しており、この種類の講義やセミナーを別の機会に望んでいることを示している。この講義は、非常に多くの学生が EU について知識を得たいと願っていることを如実に物語るものであった。これまで EUIJ は学生と市民に EU に関する興味を持たせるべく活動してきたが、今後もこの目的のために活動を継続したいと願っている。